



パック連通信

No.92 2012年9月10日発行

全国牛乳パックの
再利用を考える連絡会

事務局：東京都中野区東中野 4-6-7 東中野パレスマンション 201 TEL.03-3360-1098

5か所にてリサイクル講習会を実施

2005年から開始した「牛乳パックリサイクル講習会」は啓発活動の柱としてすっかり定着して、今年も予定の5回を実施いたしました。

そのうちの4回は、夏休み中の子どもたちが参加できるよう「親子学習会」という形をとりました。

子どもと一緒に牛乳パックのリサイクルについて学んだ若いお母さん方からも、「紙パックがどのように作られて何にリサイクルされているかまで知ることができて大変勉強になりました。講習会に参加してリサイクル意識が高まりました。」という声が寄せられました。

牛乳パックリサイクルはごくあたりまえの光景になっていますが、牛乳パックの特徴やリサイクルの経緯などほとんど知られてなく、伝え続けていく必要を痛感しました。

牛乳パックリサイクル発祥の地で初めて実施

7月14日、大月市総合福祉センターにて、今年1回目の講習会を実施しました。

大月市といえばご承知の通り、牛乳パック再利用運動が全国に先駆けて始められたところですが、しかしながら次第に他地域での運動が活発となり、ネットワーク化を目指して全国パック連を設立してからは、発祥の地大月市への注目度も低下していきました。

市内でもその認識を持たれている方はごく一部となり、小学生に至っては「牛乳パックリサイクルが大月市から始められたなんて知らなかった!」という状況です。

そんな中、大月市ボランティア協議会主催の学習会で「ぜひ牛乳パックについての話や紙漉きのデモンストレーションをしてもらいたい」との要望をいただき、「牛乳パックリサイクル講習会」として開催させていただいたわけです。



参加されたボランティア協議会の会員さんの中で、当時回収の協力をされていた方もおられて、紙漉きをしながら27年前の様子を懐かしげに語られていました。

ただ、牛乳パックリサイクルはまだまだ進行形で、なんとか大月市でも回収量アップにつなげていくよう協力を願うばかりです。

毎年人気の講座です！ 西東京市講習会

7月24日、恒例となっているエコプラザ西東京での講習会を実施しました。

参加者のアンケートでは「とても楽しかった」「来年も開催してください。このような教室があったらまた来ます。このような教室を楽しみにしています。」「牛乳パックから手すきのはがきが作れるのがすごいと思ったから、作っている時もリサイクルだと思って楽しかった。」「エコプラザに来る前に想像していたものよりはるかに楽しかった。」「今までもリサイクルしていたけど、今回どれくらいの二酸化炭素が削減されるのか、どれくらいの牛乳パックが捨てられているかなどを学び、もっとリサイクルしたいと思った。」との回答をいただき、エコプラザからも講座がしっかりと内容で構成されているとの評価をいただきました。

昨年は応募者が多いことに対応して午前・午後の2回

開催としましたが、今年はエコプラザ側のご配慮でこちらの負担を軽減しようと午後の1回開催のみとし、また講座の理解度の観点から、対象を小学4～6年生に限定して募集を行っていただきました。中には、複数回参加している子どももいて、この講習会を毎年楽しみにしていることがわかりました。



相模原市資源循環課とのコラボ企画

昨年相模原市の資源循環推進課の協力で、橋本台リサイクルスクエアにて講習会を実施したところ、市の担当職員方から好評をいただき、夏休み中の親子学習会企画で実施することとなりました。

人口71万人の政令指定都市である相模原市は、市内の量販店店頭での「相模原ごみDE71（ごみでない）大作戦」キャンペーンや、「分別戦隊シゲンジャー銀河」「レモン一個分ダイエット」のキャラクターによるPR展開などユニークな方法でごみ減量を推進しています。

8月2日に実施した講習会には、資源循環推進課より担当課長をはじめ5名の方と、またごみ収集車両の乗車体験を担当する職員方数名が同席してくださいました。

講習会でのリサイクルの話や、手すきはがきづくりとごみ収集車両の乗車記念撮影の体験を通して、資源の有効利用の大切さを伝えることができました。



牛乳パックへの理解が深まった品川講習会

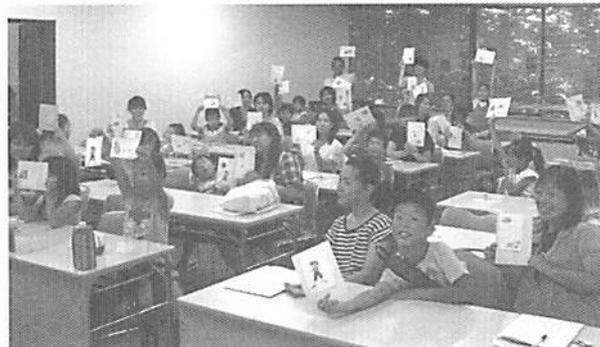
西東京市同様、今回で4回目となる品川区での講習会ですが、これまで会場としていた環境情報センターのセミナールームが手狭なことから、近くの中小企業センター会議室に場所を移して親子を対象に実施しました。

講習会を通じて参加者は、身近な牛乳パックにさまざまなストーリーがあることを知って、関心が高まったようでした。中でも牛乳を飲み終わった後パックを手開きする体験コーナーで、最初「牛乳を飲めない方は？」との問いに手を挙げていたお母さんも、「頑張って飲みます！」と牛乳を飲みほし、自身で手開きする場面も見られました。まさにリサイクルと食育を兼ね備えた講習会といえます。

この講習会の模様を、「紙パックリサイクルほんとのなはし」などの制作でお世話になっている㈱リナリマのデザイナー須田泰子さんがレポートして下さいました。

講習会に参加した方々の興味深げな様子、楽しげな表情などがレポートされていて、さっそくホームページにアップしましたので、ぜひご覧ください。

→<http://www.packren.org/gif/NEWS/20120830.pdf>



また8月19日に、昨年に引き続き中野区の公共施設「なかのZERO」の環境イベントであるエコプロジェクトのワークショップ企画でも講習会を実施しました。

夏休みも後半すっかり日焼けした子どもたちや保護者など30名の参加がありました。

夏休み自由研究対策もあって、7・8月に集中した「牛乳パックリサイクル講習会」でしたが、牛乳パックを「洗って開いて乾かして」ひと手間をかけて資源に出しているのは、世界中で日本だけであるということに、保護者の方々も驚いていたのが印象的でした。日本の牛乳パックリサイクルは世界に誇れるシステムでありながら、手間が面倒くさいと思う方はまだ多いようです。“資源が少ないのに、ごみはあふれている日本”を未来に残すことにならないよう、伝え続けていきたいと思えます。

第24回環境寄席で紙パックリサイクルのパンフレットを配布

以前パック連通信でもご紹介しましたが、漫才師の林家ライスカレー子さんは毎年環境寄席を主催しておられ、入場券代わりに牛乳パック100枚を引き受けています。

今年も5月30日(ごみゼロの日)に武蔵野公会堂で昼夜2回開催され、入場口で配布されるプログラムの中に「紙パックリサイクルほんとのほなし」とパックマークのPRパンフレットを差し込んでくださいました。

昼の部に伺ったところ、会場350席は満席という盛り上がり!また、入場受付口には、きれいに切り開いた紙パックがたくさん寄せられていて、毎年環境寄席を楽しみにコツコツ集めていただいている方々が多くいらっしゃるのことがわかり、本当に感動しました。後日カレー子さんからお便りをいただき、「今年は4千枚集まりました。」とのことでした。

集めた牛乳パックは、武蔵野市内の福祉作業所に寄附されているそうです。



10月31日(水) 環の縁結びフォーラムを開催いたします テーマは再生可能エネルギーへの取り組み

第6回目となります「環の縁結びフォーラム」を10月31日に開催することが決定いたしました。

今回のテーマを再生可能エネルギーについてと設定したのは、現在政府が進めているエネルギー政策見直しについて議論が進められているからということだけではありません。

実は、回収ボックス配布事業が目標の20,000個に達成したことを受けて、これまでに回収ボックスを申し込んでいただいた先に、トイレトペーパー1ケース贈呈キャンペーンの応募用紙を送付したところ、富岡町や南相馬市などの役場や学校にあてた封筒が「配達停止地区」のため多数戻ってきました。

その封筒は、原発事故のために家族や仲間と穏やかな暮らしを営んできたコミュニティが崩壊し、子どもたちの声が聞こえる学校がなくなった事実を物語っていて、いたたまれない気持ちになりました。

環の縁結びフォーラムは「緑の地球を子どもたちへ」を頭に掲げています。未来を担う子どもたちのために、今何をしなければならないかを考えたときに、エネルギー問題から目をそむけてはいけません。政府がエネルギー・環境戦略で脱原発依存の方針を打ち出しましたが、再生可能エネルギー社会の実現に向け課題は多く、具体的な実績を重ねていく必要があります。今回のフォーラムが少しでも、一歩でも課題解決の糸口となる機会になればと願い企画しました。多くの方のご参加をお待ちしております。

自然エネルギー財団主催の国際シンポジウムに行ってきました

環の縁結びフォーラムの企画に先立ち、事前学習を重ねるため公益財団法人自然エネルギー財団主催の国際シンポジウムに参加してきました。(9月6日於;霞が関イイノホール) テーマを「2030年その先の未来へ」として、基調講演やスウェーデン・ドイツ・デンマーク・ロシア・中国・韓国・モンゴルにおける自然エネルギーへの取り組み、課題及び解決策などのセッション、孫会長、東京都の猪瀬副知事との対談など、盛りだくさんな内容でした。

プログラム最初の孫正義会長による基調講演では、「日本は自然エネルギーの宝庫であり、風力では北海道5億4000万kw、九州で4億8000万kwと、そのポテンシャルは存在する。課題は送電網であるが、発電電を分離し送電網を日本全体で一括運用するなど電力システムの改革が必要。また、電気料金が高騰する指摘については、独占をなくし適切な競争環境を整えていくことが方策」と明解な解決策を提示されました。何より原発事故を受けて「子どもたちに安全な未来を」と自然エネルギー導入へダイナミックに動かれている孫氏の熱い思いが伝わり、会場からも大きな拍手がわき上がりました。当日の記録や資料は(公財)自然エネルギー財団のサイトにアップされています。→<http://jref.or.jp>



牛乳パック再利用マーク普及促進協議会の総会を開催しました

去る、5月29日(火)TKP 東京駅ビジネスセンター2号館にて、牛乳パック再利用マーク普及促進協議会の総会を行いました。

23年度事業報告では、普及啓発事業活動として
①エコプロダクツ2011に容環協と共同出展し、ブースの一コマにパックマーク商品やパネルを展示。
②牛乳紙パックで遊ぶ学ぶコンクール上位入賞者への副賞としてトイレットペーパー1ケースを提供。
③環境省サイト「環境ラベルデータベース」の更新を行いました。

再利用製品の利用促進にかかわる事業活動として、「牛乳パック再利用マーク普及促進パンフレット」の作成を行い、容環協との各種連携事業開催時に参加者へ配布をする等、再利用製品の利用促進に努めました。

24年度事業計画は、昨年度に引き続きパックマークの普及促進に努めると共に、パックマーク使用製品の利用を啓発することで、了承されました。

事業内容としては、エコプロダクツへの出展やコンクールへの協力、またパンフレットを作成した際の各社製品画像を活用し、各社対応のチラシデザインをパックマークメーカーへ無償提供していきます。

今年は、牛乳パック再利用マークが生まれてからちょうど20年。もっと消費者の皆さんに、このマークを目印に再生品を選んでいただくよう、さまざまな普及活動を展開していきますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。



事務局日誌 (2012年4月~2011年8月)

- | | |
|--|--------------------------|
| 4 / 11~14 韓国慶州市訪問 リサイクル施設視察 及び日韓乳加工業産業交流会参加 | 7 / 10 古紙回収促進特別委員会 |
| 25 容環協総会 | 14 大月市リサイクル講習会 |
| 15 容環協専門委員会にて啓発パンフ検討 | 24 西東京市リサイクル講習会 |
| 5 / 23 丸富製紙訪問、パックマーク促進協総会 打ち合わせ | 8 / 2 相模原市リサイクル講習会 |
| 29 パックマーク促進協総会 | 5 みんなのエネルギー環境会議 |
| 30 林家ライスカレー子環境寄席 | 9 日本自然エネルギー(株)訪問 |
| 6 / 6 リナリマ打ち合わせ | 10 品川区リサイクル講習会 |
| 7 紙製容器リサイクル促進協議会総会 | 19 なかのZEROリサイクル講習会 |
| 15 容環協支部組織委員会打ち合わせ | 23 パック連評議会 |
| 20 古紙再生促進センター評議会 | 24 紙パックリサイクルフォーラム in 富士市 |
| | 31 三越伊勢丹との環境イベント打ち合わせ |

◆これからの予定

10月には日進市立東小学校(60名)、神戸町立神戸小学校(110名)へ出前授業に伺います。

11月にも広島市立大町小学校の5年生のPTAから申し込みがあり160名を対象に、1週間後には茂木町立茂木小学校の1年生と保護者80名対象に出前授業を行う予定です。

また11月17日・18日の2日間、三越伊勢丹ホールディング主催のエコロジー展とジョイントして銀座三越9Fのテラスコートにて講習会形態のワークショップを開き、銀座デビューします!

今年のエコプロダクツは12月13~15日(ビックサイト)です。銀座、有明ともに皆様もどうかお立ち寄りください。

◎牛乳パックリサイクル・牛乳パック再利用マークについてのお問い合わせは

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会

TEL.03-3360-1098 FAX03-3360-7090 E-mail info@packren.org

ホームページ <http://www.packren.org> 〒164-0003 東京都中野区東中野 4-6-7-201

【牛乳パック110番】フリーダイヤル0120-89-4704 月~金曜 11:00~16:00